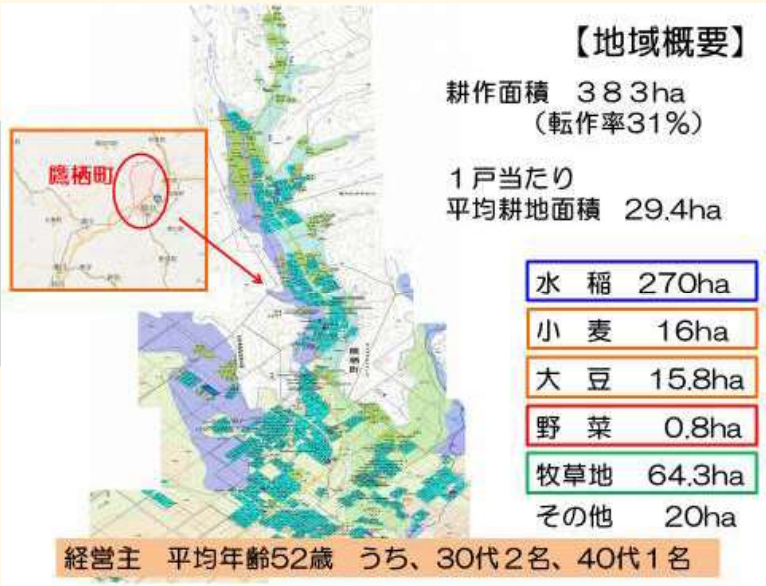


労働生産性の高い中山間地域農業の実現

～将来の選択肢を増やすための新たな挑戦～ 対象地域: 鷹栖町北斗地区 11戸

1 課題設定の背景

- ・高齢化・担い手不足による農家戸数減少
- ・現状以上の水稲面積拡大が困難
- ・転作作物は牧草が多く管理作業は委託
- ・畑作物は低収で栽培技術改善が必要



2 活動の経過

- (1) 省力化技術導入支援**
- ・密播中苗の展示ほ設置
 - ・除草剤の水口施用
 - ・省力化技術・機器の紹介
 - ・省力機械導入農家の機械設定状況や使用感の確認



- (2) 転作作物の導入と栽培改善支援**
- ・畑作物の安定栽培
 - ・土壌透排水性改善支援
 - ・基本技術励行支援



3 活動の成果

省力化技術の導入と拡大
(対象: 水稲栽培農家11戸)

目標達成！！

目標事項	R5			
	現況	目標	実績	実績/目標
密播中苗の技術定着と安定 (実施評価点数80点達成戸数)	0戸	1戸	2戸	200%
スマート農業導入に向けた啓発 (スマート農業機器導入志向戸数)	1戸	4戸	4戸	100%



水稲の省力化技術は来年度も実施したい！

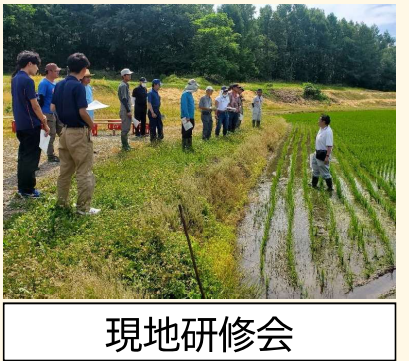


表1 密播中苗適正管理技術の実施評価

評価項目	G氏	H氏
適正は種量(催芽400mm/箱)	○	○
追肥実施(2回・2g/箱)	○	○
適正葉齢移植(2.6葉以上)	○	○
適正草丈確保(10~12cm)	×	○
適期移植(35日以内)	○	○
植付深さ(2.5cm以内)	○	○
1株本数(3~5本)	○	○
その他活着促進技術の実施	○	○
実施数	7	8
評価点数	87.5	100

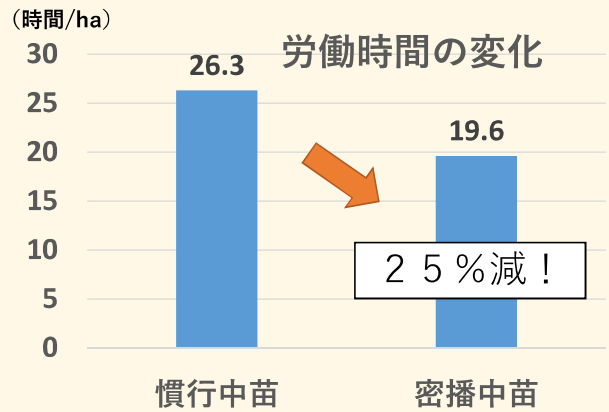


図1 密播中苗と慣行栽培の労働時間

- ・2戸とも80点以上となった
- ・10a箱枚数を増加することで1株本数は改善された
- ・労働時間や資材費は減少

慣行と比較して、半俵減は許容範囲内だよ!



転作作物の導入と栽培改善支援

(対象: 畑作物導入農家5戸)

目標事項	R5			
	現況	目標	実績	実績/目標
畑作物の安定栽培 (実施評価点数60点達成戸数)	0戸	5戸	3戸	60%

3戸 目標達成!
300kg/10a確保

畑作物栽培への意欲も向上!
電牧設置でシカの食害対策!

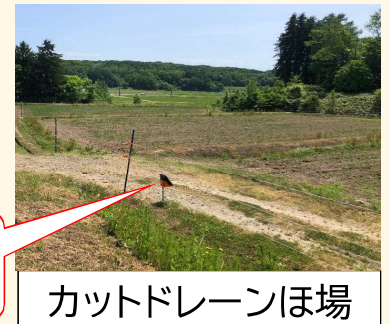


表2 基本的栽培技術の実施評価

農業者	G氏	H氏	L氏	A氏	B氏	評価基準
土壌pH適正化	△	△	△	△	△	土壌pHの適正化(5.5~6.0)
排水対策実施	○	△	○	×	△	明きよ、暗きよ、心土破砕の実施
輪作実施	△	○	○	×	×	前作と異なる作物の作付け
適期は種	○	○	○	○	○	大豆:5月中~下旬、小麦:9月中旬
適期防除	○	○	○	△	△	大豆:莢伸長期(8月上旬) 小麦:開花始め(6月上旬)
雑草対策	△	△	○	×	×	適切な時期の土壌処理、茎葉処理
生育に応じた追肥 (小麦のみ)				△	△	起生期、幼穂形成期、止葉期の追肥
評価点数	66.7	66.7	91.6	35.7	42.9	

(凡例: ○実施、△一部で実施、×未実施)

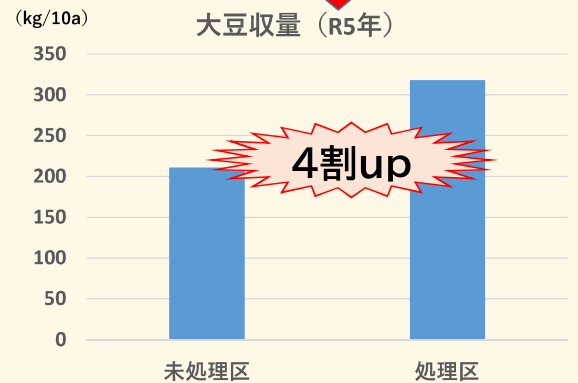


図2 カットドレーン施工の有無による大豆収量

4 今後の対応

省力化技術(高密度は種)の導入拡大に向けた技術確立

転作作物の導入と栽培改善に向けた支援継続

スマート農業機械導入に向けた啓発活動継続

カットドレーンの施工効果が確認できた。来年は収量と品質を安定させたい!

